

平成27年度（上半期）

丹羽広域事務組合水道事業報告書

自 平成27年 4月 1日

至 平成27年 9月30日

目 次

1	経理の状況		
	(1) 予算執行の状況	-----	1
	(2) 損益計算書	-----	2
	(3) 貸借対照表	-----	3
2	事業の概況		
	(1) 営業について	-----	5
	(2) 改良工事について	-----	5
	(3) 主な請負契約工事の内容	-----	6
3	業務		
	(1) 事業収入に関する事項	-----	8
	(2) 事業費用に関する事項	-----	8
	(3) 料金の状況	-----	9
	(4) 有収水量の状況	-----	9
	(5) 配水量の状況	-----	9
	(6) 給水負担金の状況	-----	9
	(7) 検針・徴収の状況	-----	9
4	会計		
	(1) 重要契約の要旨	-----	10
5	平成26年度決算状況		
	(1) 総括事項	-----	11
	(総括)	-----	11
	(経理の状況)	-----	11
	(改良工事)	-----	11
	(業務)	-----	11
	(2) 予算に対する決算状況	-----	12
	(3) 損益計算書	-----	12
	(4) 貸借対照表	-----	13

平成27年度水道事業会計（上半期）

1 経理の状況

(1) 予算執行の状況

ア 収益的収入及び支出

(収 入)

(単位：千円)

科 目	予 算 額	収 入 額	比率(%)	備 考
第1款 事業収益	987,782	480,243	48.62	(うち仮受消費税) 31,493
第1項 営 業 収 益	887,825	436,168	49.13	(") 31,490
第2項 営 業 外 収 益	99,957	44,075	44.09	(") 3

※営業外収益中、長期前受金戻入については、年間予算額の2分の1を計上しました。

(支 出)

(単位：千円)

科 目	予 算 額	支 出 額	比率(%)	備 考
第1款 事業費用	909,041	364,401	40.09	(うち仮払消費税) 14,727
第1項 営 業 費 用	900,479	363,182	40.33	(") 14,720
第2項 営 業 外 費 用	3,000	1,121	37.37	
第3項 特 別 損 失	162	98	60.49	(うち仮払消費税) 7
第4項 予 備 費	5,400	0	-	

※営業費用中、減価償却費については、年間予算額の2分の1を計上しました。

イ 資本的収入及び支出

(収 入)

(単位：千円)

科 目	予 算 額	収 入 額	比率(%)	備 考
第1款 資本的収入	186,951	30,275	16.19	(うち仮受消費税) 1,994
第1項 企 業 債	70,000	0	-	
第2項 工 事 負 担 金	116,951	30,275	25.89	(うち仮受消費税) 1,994

(支 出)

(単位：千円)

科 目	予 算 額	支 出 額	比率(%)	備 考
第1款 資本的支出	632,196	42,256	6.68	(うち仮払消費税) 2,059
第1項 建 設 改 良 費	632,196	42,256	6.68	(") 2,059

(2) 損益計算書 (税抜処理)

上半期分 (平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(単位:円)

1 営業収益			
(1) 給水収益	394,027,126		
(2) その他営業収益	10,650,733	404,677,859	
2 営業費用			
(1) 配水及び給水費	233,007,004		
(2) 総係費	13,329,946		
(3) 減価償却費	102,126,000	348,462,950	
営業利益			56,214,909
3 営業外収益			
(1) 受取利息及び配当金	109,446		
(2) 長期前受金戻入	40,614,000		
(3) 雑収益	3,349,477	44,072,923	
4 営業外費用			
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	1,120,821	1,120,821	42,952,102
経常利益			99,167,011
5 特別損失			
(1) 過年度損益修正損	90,622	90,622	90,622
当年度純利益			99,076,389
前年度繰越利益剰余金			88,979,489
その他未処分利益剰余金変動額			1,330,029,844
当年度未処分利益剰余金			1,518,085,722

※減価償却費については、年間予算額の2分の1を計上しました。

※長期前受金戻入については、年間予算額の2分の1を計上しました。

(3) 貸借対照表 (平成27年9月30日現在)

資産の部

(単位：円)

1 固定資産				
(1) 有形固定資産				
ア 土地		114,391,274		
イ 建物	9,925,450			
減価償却累計額	△ 3,860,978	6,064,472		
ウ 構築物	9,449,395,809			
減価償却累計額	△ 4,572,119,538	4,877,276,271		
エ 機械及び装置	265,042,500			
減価償却累計額	△ 204,785,268	60,257,232		
オ 車両運搬具	12,114,885			
減価償却累計額	△ 8,163,297	3,951,588		
カ 工具器具及び備品	5,909,997			
減価償却累計額	△ 4,028,570	1,881,427		
有形固定資産合計			5,063,822,264	
(2) 無形固定資産				
ア 施設利用権		2,582,030		
イ 電話加入権		1,265,400		
無形固定資産合計			3,847,430	
固定資産合計				5,067,669,694
2 流動資産				
(1) 現金預金			903,376,237	
(2) 未収金		10,551,818		
貸倒引当金		△ 1,207,055	9,344,763	
(3) 貯蔵品			531,140	
(4) 仮払金			11,421	
(5) 前払金			4,081,500	
(6) 仮払消費税			17,069,118	
流動資産合計				934,414,179
資産合計				6,002,083,873

負債の部

(単位：円)

3 固定負債				
(1) 企業債			180,000,000	
(2) 引当金				
ア 退職給付引当金		2,556,638		
引当金合計			2,556,638	
固定負債合計				182,556,638
4 流動負債				
(1) 未払金			364,608	
(2) 前受金			22,479,750	
(3) 預り金			45,293,063	
(4) 仮受消費税			33,487,083	
流動負債合計				101,624,504
5 繰延収益				
ア 国庫補助金長期前受金		3,063,354		
収益化累計額		△ 1,027,044	2,036,310	
イ 県費補助金長期前受金		71,712,260		
収益化累計額		△ 51,040,437	20,671,823	
ウ 工事負担金長期前受金		3,329,730,218		
収益化累計額		△ 1,380,991,853	1,948,738,365	
エ 受贈財産評価額長期前受金		57,566,125		
収益化累計額		△ 3,189,964	54,376,161	
繰延収益合計				2,025,822,659
負債合計				2,310,003,801

資本の部

(単位：円)

6 資本金				
(1) 自己資本金				
ア 固有資本金		17,800,646		
イ 出資金		747,568,613		
ウ 組入資本金		1,042,209,868		
自己資本金合計			1,807,579,127	
資本金合計				1,807,579,127
7 剰余金				
(1) 資本剰余金				
ア 工事負担金		95,068,288		
資本剰余金合計			95,068,288	
(2) 利益剰余金				
ア 利益積立金		26,346,935		
イ 建設改良積立金		245,000,000		
ウ 当年度未処分利益剰余金		1,419,009,333		
利益剰余金合計			1,690,356,268	
剰余金合計				1,785,424,556
資本合計				3,593,003,683
負債資本合計				5,903,007,484

2 事業の概況

(1) 営業について

平成27年度上半期（平成27年4月～平成27年9月）における有収水量は303万3千 m^3 で、前年度と比較し、12万4千 m^3 の減で99.6%となりました。

収益的収支の収入は、事業収益が予算額9億8,811万7千円に対して4億8,024万3千円で48.6%の収入率となり、このうち水道料金収入は4億2,551万7千円で、口座振替加入率が85.7%となっています。

支出では、事業費用として予算額9億904万1千円に対し、執行額は3億6,440万1千円で40.1%の執行率となっています。

資本的収支は、収入3,027万5千円に対し支出は4,225万6千円となっています。

次に業務状況は、給水業務については、新規給水申込は182件あり、前年同期の件数と比較しますと38件の増となりました。

下半期についても一層の経費節減に心掛け、健全経営に努めてまいります。

区 分	単 位	平成26年度上半期	平成27年度上半期	増減（△減）	
給 水 戸 数	戸	22,148	22,038	△ 110	
給 水 人 口	人	57,380	57,671	291	
配 水 量	総 配 水 量	m^3	3,402,815	3,402,829	14
	一日最大配水量	m^3	20,385	20,980	595
	一日平均配水量	m^3	18,494	18,494	0
有 収 水 量	m^3	3,015,745	3,003,331	△ 12,414	

(2) 改良工事について

今年度といたしましては、事務室等改修で640万5千円、下水設備工事で340万2千円、施設改良関係で1億8,459万4千円、配水管整備関係では水圧水質改善及び有収率向上を目的にした布設替工事等で3億4,668万円、合わせて5億4,108万1千円を予算計上しています。

上半期の発注状況としましては、施設改良関係及び配水管整備関係合わせて4億3,127万8千円を発注し、執行率は79.7%になっています。

(3) 主な請負契約工事の内容

①建設改良工事等

工 事 名	工 事 内 容	契約金額 (円)	契 約 年 月 日	請 負 業 者
大口北部水源改良工事施工監理業務(継続事業)	施工監理業務・建築確認申請	7,236,000 (11,124,000)	26. 8. 11	中日本建設コンサルタント(株)
大口北部水源機械電気設備工事(継続事業)	機械設備・電気設備・配管布設	111,488,400 (113,400,000)	26. 8. 18	藤田電機工業(株)
大口北部水源築造工事(継続事業)	沈砂池・ポンプ室の築造他	37,065,600 (62,532,000)	26. 9. 17	丸周建設(株)
丹羽広域事務組合水道部事務室等改修工事	OAフロア敷設他	5,907,600	27. 4. 17	熊沢建設(株)
斎藤字緑地内配水管布設替工事	HPPEP φ 50他 L= 212.360m	8,640,000	27. 4. 17	(有)大竹水道工事店
斎藤字旭地内消火栓設置工事	地下式単口消火栓 φ 75~1基	1,064,880	27. 4. 23	山本設備
河北二丁目地内舗装復旧工事	切削オーバーレイ工法 ~187.95m	3,510,000	27. 4. 30	吉永建設工業(株)
高雄字福塚地内配水管布設替工事	HPPEP φ 100他 L= 26.830m	1,166,400	27. 5. 28	吉永建設工業(株)
高雄字下山地内配水管布設工事	HPPEP φ 50他 L= 16.630m	735,480	27. 7. 9	(有)新栄設備
萩島一丁目地内消火栓設置工事	地下式単口消火栓 φ 75~1基	907,200	27. 7. 10	(株)丸広水道店
余野三丁目地内配水管布設工事	DIP. GX φ 300他 L= 362.740m	32,400,000	27. 8. 10	永光建設(株)
余野四丁目地内配水管布設工事	DIP. GX φ 300他 L= 356.195m	32,400,000	27. 8. 10	熊沢建設(株)
大口南部水源改良工事設計業務	撤去設計、更新設計、井戸修繕設計	11,016,000	27. 8. 10	中日本建設コンサルタント(株)
余野三丁目地内配水管布設工事その2	DIP. GX φ 300他 L= 327.968m	29,052,000	27. 8. 12	丸周建設(株)
余野四丁目地内配水管布設工事その2	DIP. GX φ 300他 L= 227.415m	29,700,000	27. 8. 13	(有)吉田設備
河北二丁目地内バイパス管分岐工事	DIP. NS φ 400他 L= 35.790m	24,408,000	27. 9. 3	(有)新栄設備
上小口二丁目地内国道41号線推進工事	DIP. NS φ 400他 L= 161.540m	90,396,000	27. 9. 4	吉永建設工業(株)
南山名字野田浦地内配水管布設工事	HPPEP φ 50他 L= 16.120m	1,215,000	27. 9. 28	(有)大竹水道工事店
丹羽広域事務組合水道部排水設備工事	排水管 VU φ 100他~96.6m 給水管 HiVP φ 25 ~76.2m	2,970,000	27. 9. 29	(有)吉田設備
合 計	L= 1,743.588m	431,278,560		

※()内は継続事業全体の金額

②配水管新設工事

工 事 名	工 事 内 容	契約金額(円)	契 約 年月日	請 負 業 者
外坪一丁目地内 配水管新設工事No.358	HPPEP φ 50 L= 84.450m	1,792,800	27. 4. 16	永光建設(株)
柏森字寺裏地内 配水管新設工事No.先1他	HPPEP φ 50 L= 16.590m	464,400	27. 4. 24	山本設備
伝右一丁目地内 配水管新設工事No.343	HPPEP φ 50 L= 52.230m	1,290,600	27. 4. 30	(有)マルイチ吉田水道
高雄字北郷地内 配水管新設工事No.40	HPPEP φ 50 L= 36.790m	1,030,320	27. 6. 10	(株)ヤジマ
下小口一丁目地内 配水管新設工事No.28	HPPEP φ 50他 L= 13.320m	468,720	27. 6. 15	永光建設(株)
柏森字郷前地内 配水管新設工事No.36他	HPPEP φ 50 L= 34.800m	1,069,200	27. 6. 17	(株)ヤジマ
高雄字米ノ山地内 配水管新設工事No.51	HPPEP φ 50他 L= 35.310m	1,080,000	27. 7. 3	永光建設(株)
高木字白山前地内 配水管新設工事No.65他	HPPEP φ 50他 L= 32.069m	1,112,400	27. 7. 9	(株)ヤジマ
下小口七丁目地内 配水管新設工事No.53他	HPPEP φ 75他 L= 66.685m	2,937,600	27. 7. 14	(株)丸広水道店
柏森字寺裏地内 配水管新設工事No.先13他	HPPEP φ 50他 L= 39.500m	1,468,800	27. 8. 18	吉永建設工業(株)
余野六丁目地内 配水管新設工事No.104他	HPPEP φ 75他 L= 47.685m	1,598,400	27. 8. 26	(有)マルイチ吉田水道
奈良子一丁目地内 配水管新設工事No.137	HPPEP φ 50 L= 31.207m	993,600	27. 8. 26	吉永建設工業(株)
御供所二丁目地内 配水管新設工事No.52	HPPEP φ 50 L= 13.900m	399,600	27. 9. 25	(株)ジェーケー・サービス
小口字地藏堂地内 配水管新設工事No.先18他	HPPEP φ 150他 L= 207.379m	13,176,000	27. 9. 25	(有)新栄設備
竹田二丁目地内 配水管新設工事No.120	HPPEP φ 50 L= 24.099m	880,200	27. 9. 29	(有)マルイチ吉田水道
合 計	L= 736.014m	29,762,640		

3 業務

(1) 事業収入に関する事項

(単位：千円)

事 項	26年度上半期	27年度上半期	比 較		備 考 (消費税込金額)
			増減(△減)	比率 (%)	
営業収益	407,148	404,678	△ 2,470	99.39	436,168
給 水 収 益	398,303	394,027	△ 4,276	98.93	425,517
そ の 他 営 業 収 益	8,845	10,651	1,806	120.42	10,651
営業外収益	40,674	44,072	3,398	108.35	44,075
受取利息及び配当金	93	109	16	117.20	109
長期前受金戻入	38,168	40,614	2,446	106.41	40,614
雑 収 益	2,413	3,349	936	138.79	3,352
特別利益	1,478	0	△ 1,478	皆減	0
固定資産売却益	1,478	0	△ 1,478	皆減	0
計	449,300	448,750	△ 550	99.88	480,243

※長期前受金戻入については、年間予算額の2分の1を計上しました。

(供給単価)

26年度上半期	給水収益 398,303 千円	=	132.11
	有収水量 3,015 千m ³		
27年度上半期	給水収益 394,027 千円	=	131.21
	有収水量 3,003 千m ³		

(2) 事業費用に関する事項

(単位：千円)

事 項	26年度上半期	27年度上半期	比 較		備 考 (消費税込金額)
			増減(△減)	比率 (%)	
営業費用	349,864	348,463	△ 1,401	99.60	363,182
配水及び給水費	237,466	233,007	△ 4,459	98.12	247,458
総 係 費	9,230	13,330	4,100	144.42	13,598
減 価 償 却 費	103,168	102,126	△ 1,042	98.99	102,126
営業外費用	633	1,121	488	177.09	1,121
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	633	1,121	488	177.09	1,121
特別損失	13,291	91	△ 13,200	0.68	98
過年度損益修正損	34	91	57	267.65	98
そ の 他 特 別 損 失	13,257	0	△ 13,257	皆減	0
計	363,788	349,675	△ 14,113	96.12	364,401

※減価償却費については、年間予算額の2分の1を計上しました。

(給水原価)

26年度上半期	総費用 363,788 千円	−	(0 千円 + 13,291 千円 + 38,168 千円)	=	103.56 円
	有収水量 3,016 千m ³				
27年度上半期	総費用 349,675 千円	−	(0 千円 + 91 千円 + 40,614 千円)	=	102.89 円
	有収水量 3,003 千m ³				

(3) 料金の状況

(単位 千円)

年・率		月						合計
		4	5	6	7	8	9	
26年度上半期		66,405	67,352	64,093	76,030	72,587	78,016	424,483
27年度上半期		64,561	68,340	67,314	75,013	72,108	78,181	425,517
比較	増減(△減)	△ 1,844	988	3,221	△ 1,017	△ 479	165	1,034
	比率(%)	97.2	101.5	105.0	98.7	99.3	100.2	100.2

(4) 有収水量の状況

(単位：m³)

年・率		月						合計
		4	5	6	7	8	9	
26年度上半期		440,182	529,488	430,594	571,458	464,061	579,962	3,015,745
27年度上半期		422,692	526,669	441,581	566,862	464,013	581,514	3,003,331
比較	増減(△減)	△ 17,490	△ 2,819	10,987	△ 4,596	△ 48	1,552	△ 12,414
	比率(%)	96.0	99.5	102.6	99.2	100.0	100.3	99.6

(5) 配水量の状況

(単位：m³)

年・率		月						合計
		4	5	6	7	8	9	
26年度上半期		566,056	536,173	578,095	565,978	584,162	572,351	3,402,815
27年度上半期		549,377	545,967	574,740	561,054	598,459	573,232	3,402,829
比較	増減(△減)	△ 16,679	9,794	△ 3,355	△ 4,924	14,297	881	14
	比率(%)	97.1	101.8	99.4	99.1	102.4	100.2	100.0

(6) 給水負担金の状況

項目	年度	26年度上半期	27年度上半期	比較	
				増減(△減)	比率(%)
加入件数(件)		153	194	41	126.80
給水負担金(円)		20,384,550	22,696,200	2,311,650	111.34

※新規申込件数 182件に対する給水負担金の額は 20,995,200円となり、前年度の額1,858,050円の増となりました。

(7) 検針・徴収の状況

イ 検針

区分	延件数			2か月平均	
	26年度上半期	27年度上半期	増減(△減)	26年度上半期	27年度上半期
総検針件数	63,662	64,806	1,144	21,221	21,602

ロ 徴収

区分	延件数			2か月平均		
	26年度上半期	27年度上半期	増減(△減)	26年度上半期	27年度上半期	
総徴収件数	64,419	65,638	1,219	21,473	21,879	
内訳	銀行納付	2,282	2,170	△ 112	761	723
	コンビニ納付	8,073	8,487	414	2,691	2,829
	口座振替	53,846	54,803	957	17,949	18,268
	窓口納付	218	178	△ 40	72	59

4 会計

(1) 重要契約の要旨

内容については、「2 事業の概要」中「(3) 主な請負契約工事の内容」と同一のため省略。

5 平成 26 年度決算状況

(1) 総括事項

(総括)

水道は、今やほとんどの人が利用できるまでに普及し、健康で文化的な生活や様々な社会経済活動を支える必要不可欠な生活基盤として、重要な役割を果たしています。その水道を支える水道事業は、常に安全で安心して飲むことができる水を、安定して供給できるよう、施設や主要管路の耐震化を図り、災害に強い水道づくりを進めていく必要があります。

その一方で、社会全体の水需要は、省エネ対策やコスト削減への取り組みなどにより、ますます減少しています。厳しい財政状況の中、26年度は起債による計画的な資金調達を実施し、信頼できるライフラインの構築に努めました。

環境対策としては、電気自動車の活用や、事務用OA機器更新に伴いコスト削減を推進しました。庁舎事務室の改修においても事務全体の効率化を図るなど、今後も更なる省エネ対策に積極的に取り組んでまいります。

また、地域の活動として、愛知県企業庁の協力のもと、柏森小学校と大口南小学校に水道部の職員が出向し、小学4年生を対象に講座を開き、水道のPR活動を行いました。

このような状況を踏まえ、広域的な水道事業者との連携を図りながら、財政の健全化を堅持し、健全な運営を継続していく所存です。

(経理の状況)

26年度は、収益的収支（消費税相当額抜）において、営業収益 8 億 2,813 万円に対し、営業費用 8 億 2,785 万 4 千円で、営業利益は 27 万 6 千円となりました。営業外収益 8,312 万 2 千円に対し、営業外費用は 757 万 9 千円で、経常利益は 7,581 万 9 千円となりました。

また、特別利益は 509 万 1 千円、特別損失は 1,329 万 3 千円でありましたので、当年度の純利益は 6,761 万 7 千円となりました。

次に、資本的収支（消費税込）におきましては、2 億 3,293 万 9 千円の収入に対し、支出は 2 億 6,741 万 1 千円で、3,447 万 2 千円の不足となりました。この不足額は、過年度分損益勘定留保資金 2,358 万 2 千円及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 1,089 万円で補てんしました。

(改良工事)

26年度の事業としましては、第3次水道整備実施計画に基づく施設改良として、大口北部水源改良工事（26・27年度継続事業）を施工し、配管整備関係では、河北配水場からの基幹管路のバイパス管整備を行うなど、施設と管路の耐震化に取り組みました。このほか、有収率の向上を図るため配水管の整備及び水圧水質改善工事を行いました。

(業務)

26年度末の給水件数は 21,678 件、有収水量は 6,054,328 m³、有収率は 91.10%です。

新規加入、移動、臨時、口径変更等の給水申込みは、合計 630 件となり、その他として量水器及び止水栓取替工事を 4,034 件行いました。

検針、徴収業務については、18名の検針委託人と職員で処理しました。なお、徴収業務のうち年度末における口座振替件数は 18,635 件となり、加入率は 86.0%となっています。

(2) 予算に対する決算状況

(単位：円)

区 分	予 算 額	決 算 額	予算に対する割合(%)
事業収益	903,227,000	894,470,579	99.03
事業費用	842,456,000	825,974,988	98.04
資本的収入	288,786,000	276,653,225	95.80
資本的支出	508,511,000	485,205,629	95.42

(3) 損益計算書 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

1 営業収益 (単位：円)

(1) 給水収益	798,413,197		
(2) 受託工事収益	133,108		
(3) その他営業収益	29,584,645	828,130,950	

2 営業費用

(1) 配水及び給水費	586,819,166		
(2) 受託工事費	124,400		
(3) 総係費	16,439,058		
(4) 減価償却費	203,232,292		
(5) 資産減耗費	21,239,874	827,854,790	
営業利益			276,160

3 営業外収益

(1) 受取利息及び配当金	162,109		
(2) 他会計負担金	2,298,000		
(3) 長期前受金戻入	76,336,207		
(4) 雑収益	4,326,490	83,122,806	

4 営業外費用

(1) 支払利息及び 企業債取扱諸費	1,332,876		
(2) 雑支出	6,246,558	7,579,434	75,543,372
経常利益			75,819,532

5 特別利益

(1) 固定資産売却益	1,478,050		
(2) 引当金戻入益	2,884,024		
(3) 過年度損益修正益	729,267	5,091,341	

6 特別損失

(1) 過年度損益修正損	35,577		
(2) その他特別損失	13,257,466	13,293,043	△ 8,201,702

当年度純利益			67,617,830
前年度繰越利益剰余金			21,361,659
その他未処分利益			1,330,029,844
過剰金変動額			
当年度未処分利益剰余金			1,419,009,333

(4) 貸借対照表 (平成27年3月31日現在)

(単位：円)

		資 産 の 部	
1 固定資産			
(1)有形固定資産			
ア	土地		114,391,274
イ	建物	9,925,450	
	減価償却累計額	△ 3,712,730	6,212,720
ウ	構築物	9,380,558,119	
	減価償却累計額	△ 4,472,653,009	4,907,905,110
エ	機械及び装置	264,732,440	
	減価償却累計額	△ 203,080,133	61,652,307
オ	車両運搬具	12,114,885	
	減価償却累計額	△ 7,489,654	4,625,231
カ	工具器具及び備品	5,909,997	
	減価償却累計額	△ 3,896,125	2,013,872
キ	建設仮勘定		28,950,000
	有形固定資産合計		5,125,750,514
(2)無形固定資産			
ア	施設利用権		2,582,030
イ	電話加入権		1,265,400
	無形固定資産合計		3,847,430
	固定資産合計		5,129,597,944
2 流動資産			
(1)	現金預金		754,156,614
(2)	未収金	30,162,886	
	貸倒引当金	△ 1,207,055	28,955,831
(3)	貯蔵品		913,830
(4)	仮払金		18,700
	流動資産合計		784,044,975
	資産合計		5,913,642,919

負 債 の 部

3	固定負債				
	(1) 企業債			180,000,000	
	(2) 引当金				
	ア 退職給付引当金	2,556,638			
	引当金合計			2,556,638	
	固定負債合計				182,556,638
4	流動負債				
	(1) 未払金			61,537,921	
	(2) 前受金			1,582,824	
	(3) 引当金				
	ア 賞与引当金	7,764,991			
	引当金合計			7,764,991	
	(4) 預り金			29,041,110	
	流動負債合計				99,926,846
5	繰延収益				
	ア 国庫補助金長期前受金	3,063,354			
	収益化累計額	△ 933,044		2,130,310	
	イ 県費補助金長期前受金	71,712,260			
	収益化累計額	△ 50,431,937		21,280,323	
	ウ 工事負担金長期前受金	3,301,449,311			
	収益化累計額	△ 1,341,742,353		1,959,706,958	
	エ 受贈財産評価額				
	長期前受金	57,566,125			
	収益化累計額	△ 2,527,964		55,038,161	
	繰延収益合計				2,038,155,752
	負債合計				2,320,639,236

資 本 の 部

6	資本金				
	(1) 自己資本金				
	ア 固有資本金	17,800,646			
	イ 出資金	747,568,613			
	ウ 組入資本金	1,042,209,868			
	自己資本金合計			1,807,579,127	
	資本金合計				1,807,579,127

7 剰余金

(1) 資本剰余金

ア 工事負担金	95,068,288	
資本剰余金合計	95,068,288	95,068,288

(2) 利益剰余金

ア 利益積立金	26,346,935	
イ 建設改良積立金	245,000,000	
ウ 当年度未処分利益剰余金	1,419,009,333	
利益剰余金合計	1,690,356,268	1,690,356,268
剰余金合計		1,785,424,556
資本合計		3,593,003,683
負債資本合計		5,913,642,919

- ※1 賞与引当金の取り崩し
当年度において、賞与引当金7,816,804円を取り崩し、6月期末勤勉手当に充当した。
- ※2 貸倒引当金の取り崩し
当年度において、貸倒引当金208,385円を取り崩し、貸倒れ債権として欠損処理をした。
- ※3 退職給付引当金の戻入
当年度期首における退職給付引当金から、当年度末の要退職給付引当金を差し引いた残額2,884,024円を特別利益として戻入した。